

やってみる	製作計画に基づき、見直しをもって製作する。	6	製作する楽しさを味わいながら取り組んでいる。(観・シート)	目的に応じた縫い方について考えたり、自分なりに工夫したりしている。(観・シート)	ミシン縫いや手縫いにより、目的に応じた縫い方ができる。(観)	布の裁ち方、しるしの付け方、目的に応じた縫い方が分かる。(観・テスト)
生かす 振り返る	製作した布製品を使ってみた感想をまとめる。自分の作品や製作について振り返る。報告会をして、感想交流をする。	1	自分の作った作品を活用する喜びを味わい、生活に生かそうとしている。(観・シート)	製作した物を活用し、改善点や活用する工夫について考えている。(観・シート)		

(5) 本時の指導 (5・6/13時間)

ア 目標 使う目的に合わせて、自分が作りたい袋の形や大きさ、手順などを考えて製作計画を立てることができる。

イ 準備物 (教師) ワークシート 新聞紙 50cmさし セロテープ
(児童) 袋に入れるもの 裁縫セット はさみ のり

ウ 展開

学習活動	◇主な発問 ・子どもの意識の流れ	○教師の支援 ◎評価
1 前時までの活動を振り返る。(5分)	<ul style="list-style-type: none"> 自分で作ったナップザックを修学旅行で着替えを入れて使ったよ。 口が丈夫に縫えていてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ナップザック作りの学習を想起させ、各自の袋作りの成果や課題をつかませる。
2 本時のめあてと学習の流れを確認する。(5分)	<p style="border: 2px solid black; padding: 2px; text-align: center;">マイバッグ作りの計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他にも袋を作りたいな。 手さげバッグは作ったことがないから挑戦してみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で「あったらいいな。」と思う布の袋を発表させる。
3 作りたい袋について考える。 (1) 袋の形や大きさを考える。(10分)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「マイバッグ計画書」を作ろう。 ◇ 今度は、○○の時に、△△を入れる袋を作りたいな。 ◇ 形は(巾着/手さげ/リュック)にしよう。 ◇ 入れたいものの大きさは、・・・だな。 ◇ 何cmゆとりがあればいいかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 袋に入れる物、いつ使うかを考えさせる。 ◇ 入れたい物を授業までに準備させておき、それを使って袋の大きさを考えさせる。
(2) 試しに新聞紙で袋を作って、大きさの確認をする。(25分)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 新聞紙で袋を作ってみよう。 ◇ 袋に厚みがあったら入れやすいな。 ◇ 手さげの長さはこれくらいでいいかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 新聞紙を貼り合わせるときに、のりしろと縫いしろを関連させる。 ◇ まちをつけたい児童を集めて、まちの作り方について、説明する。
(3) 工夫と製作手順を考え、「マイバッグ計画書」を仕上げる。(10分)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ お気に入りの「マイバッグ」にするための工夫を考えよう。 ◇ 飾りに苦手なボタンつけをやってみようかな。 ◇ ○○を入れる内ポケットを付けたいな。 ◇ 内ポケットはわきを縫う前に付けなといけな。 ◇ この作業はどこでやればいいのか。先生に聞いてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 布の色・ボタン・ポケット・テープ・アプリケなど、児童のアイデアを出し合い、その中から自分の技能や好みを考えながら取り入れたいものを選ばせる。 ◇ 袋の基本的な製作手順を提示し、それと照らし合わせながら、マイバッグ製作の手順を考えさせる。 ◇ 手順がどうしても分からないときや確認したいときは、教師に尋ねるように声を掛ける。
4 「マイバッグ計画書」について交流する。(20分)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「マイバッグ計画書」について、よい点やアドバイスや質問を出し合いましょう。 ◇ 口にボタンを付けるのがかわいいね。 ◇ この作業はこの後でないと縫うのが難しいよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ グループで「マイバッグ計画書」について話し合った後、グループから全体で紹介したい人1名を選ぶようにする。
(1) グループ (2) 全体		
5 本時の学習を振り返る。(10分)	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 学習を振り返って、分かったことや気付いたことを発表しよう。 ◇ 今日のキーワードは、「袋の大きさ、ゆとり、工夫」だな。 ◇ 新聞紙で袋を作ってみると、どれくらいゆとりがあったらいいのかが分かりやすかったな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 今日の学習のキーワードを考えさせ、振り返りカードに書くようにする。 ◎ 使う目的に合わせて、大きさや形、製作計画について考えたり、工夫したりしている。(創・工/発言・ワークシート)

6 次時の確認をする。(5分)	◇ 次回は、いよいよマイバッグの製作に取り掛かりよう。 ・楽しみだな。 ・この新聞紙の袋を見せて、家の人と相談して、布を用意しよう。	○ 新聞紙で作った袋を見せると、家の人や布を買いに行ったときにどんな袋を作りたいのかが伝えやすいことに気付かせる。
-----------------	--	---

(6) 活動の実際

ア 子どもの気付きを生かし、実生活との関連を図った問題解決的な学習の工夫

(7) 既習の技能を生かした題材の導入

本題材では、まず、製作キットを使ってナップザックを製作した。製作をする前に、家庭科アンケート(チェックシート)を使って、手縫いやミシン縫いなどの技能について、自分でできることとできないことを確かめ(黒で記入)、製作を開始した(資料1)。そして、ナップザック完成後に再度、チェックシートを確認した(赤で記入)。製作前後に技能の確かめを行うことで、次の製作での自分の課題を見付けることができた(資料2)。また、一斉指導中心でのナップザック作りを通して、布を使った袋作りの基本的な製作過程を理解したことによって、自分が実際に使える布製品を作る学習活動への意欲の高まりと見通しをもつことができた。

(8) 子どもの気付きを促す学習活動の工夫

製作計画を立てる学習活動では、自分が作りたい袋を具体的にイメージできるように、新聞紙を使って実際の大きさ、形で作る活動を取り入れた(写真1)。でき上がった新聞紙の袋に入りたい物を入れてみることで、ゆとりの大切さを再確認した児童やポケットや飾りボタンなどの位置を決めやすくなった児童がいるなど、見通しをもつことに大いに有効であった(写真2)。

そして、それらを「マイバッグ計画書」にまとめ、グループ、全体で交流をし、自分と友達との製作計画を比較することで、計画の修正をしたり、自分の計画に自信をもったりすることができた(資料3)。

(9) 言語活動の充実

本校では、算数科を中心に、児童同士の交流による学び合いを深める研究をしている。そこで、家庭科においても学習の振り返りの場面で、一人一人の感想をワークシートにまとめ、それらを交流する活動を取り入れた(資料4)。各自が様々な袋を製作していく過程で、気付いたことや困ったことなどを共有することによって、自分の製作に生かすことができたり、新たな気付きにつながったりした。また、キーワードを使って学習のまとめをすることで、気付きを整理することができた。

家庭科アンケート(布を使った実習編)		年 番				
おつのうちあてはまる欄に○をつけよう。		大塚	大塚	大塚	大塚	大塚
		あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる
1	家庭科が好き					
理由	料理をするのが好きだからです。					
2	家庭科が得意					
理由	布がとぎぬたりすると綺麗になるからです。					
3	手縫いやミシン縫いの作品作りが好き					
理由	かんたんに作れてできあがるのがうれしいからです。					
4	針に糸を通すことができる					
5	玉結びができる					
6	玉どめができる					
7	なみぬいができる					
8	本返しぬいができる					
9	半返しぬいができる					
10	かがりぬいができる					
11	ぬい取りができる					
12	ボタンつけができる					
13	ミシン針をつけることができる					
14	上糸をかけることができる					
15	下糸の準備ができる					
16	ぬい目の調節ができる					
17	直縫いができる					
18	返しぬいができる					
19	三つ折りぬいができる					
20	ななめ部分の三つ折りぬいができる					
21	ポケットをつけることができる					
22	ひものぬいつけができる					
23	まち針を順番にとめることができる					
24	布のちがいがわかる(わかる)					
25	しるしつけができる(わかる)					
26	ひも通しができる					
27	アイロンを正しく使うことができる					

<資料1 家庭科アンケート>

ナップザック作りを終えて

【リュックのときはええ活用の仕方】
リュックのときはええ活用の仕方です。80点くらいです。あとの20点はミンのぬい方とです。ミンで何回も苦戦して大変でした。でも、自分では、いい布ができたと思います。家でも作ってみたいです。

【できたこととできるようになったこととできなかったこと】
返しぬいがとても得意になりました。
下糸が準備できるようにになりました。(おかしな)
上糸のかけ方がよくなりました。ひもがはまりました。

【気付いたことと分かったこととよく分らなかったこと】
ミンのぬい方のコツが分かりました。
お返しぬい目が曲がらないようにやってみます。
ミンはゆるくしんじょうにやると方がいいと分かりました。(遅くやるとがよかった)

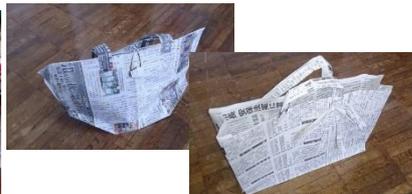
【次のバッグ作りで生かしたいこととがんばりたいこと】
急がず集中してゆるくやりたいです。
上糸かけもかまはります。
家でも生かしていきます。
ミンをゆるく使っていきます。



<資料2 ナップザック作りを終えて>



<写真1 試しに新聞紙で袋を作っている様子と完成した袋>



<写真2 ゆとりを確かめている様子>



〈資料3 マイバッグ計画書〉

マイバッグ振り返りカード		
月日	学習内容 (学習内容の要約)	振り返り (学習内容の要約と、自分の感想や気づき)
9/30	① 計画書作り ② 新聞で材料探し	〇... 新聞で材料探しをした時に、自分が必要なものが見つかった。うまくまとめた。
9/30	①	〇... 長さや幅を測って、計測者に書くことができた。
10/7	① 布を縫う ② 布を縫う	〇... フラップを作った時にうまくできなかった。縫い直して、縫い直して縫うようになった。
10/7	① 2つの柄を ② 縫い合わせる	〇... 布を2つの柄にするには一度大きく切ってから、もう一つの柄をつけることができた。
10/14	① ロースを ② 縫う	△... わきを縫うときは、直線縫いがうまくできなくて、ななめになつて、お直しが必要だった。
10/14	① わきを ② 縫う	△... まち針をさす時に、布が厚くて、うまくさすことができなかった。
10/21	① ロースを ② 縫う	〇... ロースは直線縫いがいきた。布が厚くて縫うところは、縫い直して、縫い直して縫うようになった。
10/28	① スナップを ② 縫う	〇... スナップはボタンと同じように縫うだけで、縫い直さなくてよかった。

〈資料4 振り返りカード〉

工夫したところは、カエルの目を付けたことです。苦縫いが上手じゃなくて苦勞したけれど、きれいに仕上がりました。2色の布で作るとにぎやかになりました。手間ひまかけてよかったです。



シューズを入れてぴったりより5~8cm大きいので、中学生になっても使えます。持ち手の取り外しができます。ボタンの穴のほつれを防ぐために手縫いがんばりました。

袋の中に本を入れるとぴったりでした。ひもの長さもちょうどいいです。持ち手をできるだけしようぶにしようとしてみるときれいに仕上がりました。

〈写真3 出来上がった作品と児童の感想〉

(E) 実生活と関連させた題材の終末

本題材の終末に「マイバッグ報告会」を設定した。製作過程での工夫点や苦勞したこと、そして、使ってみての感想などを交流することで、今後の生活で、製作した袋の活用への期待が高まったり、新たな製作意欲へつながったりした(写真3)。

イ 子どもの成長や授業の改善に生きる評価の工夫

(ア) ワークシートの工夫と活用

チェックシートにより各自が技能を自己評価することで、製作活動への課題を自覚することができた。また、振り返りカードにより製作計画、製作活動における各自の気づきを自己確認できた。また、製作の観察、支援においても、教師が把握しきれない児童のつまづきや新たな工夫点などを確認でき、次時の教師の支援計画の見通しを立てるのに役立った。

(イ) 教師の評価表の作成と活用

各学習過程での評価の観点ごとに記入ができるように児童の振り返りカードと活動の状況を評価表に記入することで、各自のつまづきや指導、支援のポイントを絞ることができた。しかし、製作の支援を行いながらの評価表の記入が難しい場合も多くあった(資料5)。

学習過程	家庭生活への関心・愛着・態度			生活を創る工夫する能力			生活の技能			家庭生活についての判断・理解		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③
観点	自分の生活に責任を持つことができる。	家族の生活に責任を持つことができる。										
評価方法	観察											
1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

〈資料5 教師用評価表〉

3 成果と課題

題材構成や学習展開等問題解決的な学習の工夫により、ナップザック製作からマイバッグ製作まで、児童は大変意欲的に取り組んだ。特に、マイバッグ作りでは、製作を進めながら、工夫を付け加え、よりよい作品を製作しようという意識の高まりを感じることができた。また、製作過程で、手縫いやミシン縫いなどの技能が向上していき、満足のできるマイバックを完成させることによって製作の喜びを味わうことができた。しかし、一人一人の思いを製作に反映させるためには、一人の教師のサポートだけでは十分対応できなかった。したがって、友達同士で意見を出し合いながら製作を進めることができる班編成の工夫やチームティーチングの検討が今後の課題である。

また、ワークシートの活用によって、製作活動を自分で見直し、課題や成果に気付くことができた。しかし、製作に時間のかかる児童は、振り返りまでいけないことも多く、製作計画を立てる段階で、各自の技能と製作計画のバランスを確認するなど、苦手な児童へのきめ細かい手立てが必要であった。評価表は、児童の製作状況を把握し、見取りや支援の計画に効果的であった。